

## 2013 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 観音寺市立観音寺南小学校 ] 担当教諭名 [ 出濱 大資 ] ( 6年梅組 34名 )  
 交流相手国 [ 台湾 ]  
 海外学校名 [ Wen Hua Elementary School ] 担当教諭名 [ Fu, Ya-huei ]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教 科	単 元 名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	台湾の友達と交流しよう！	30

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	MY CITY
絵に込めたメッセージ	自分たちの市にある自然・食・古い建造物・文化等を題材にすることで、ふるさとの良さを再発見しよう！



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
台湾の子どもたちが学校訪問をお行い、日本の文化体験をすることができたのでよかった。また、直接会うことで相手国に対して、好意的な感情を持つ児童が増えた。	コミュニケーションを取るといことが苦手な子供たちにとって相手意識を持たせることがまだまだ課題だと感じた。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
学校だよりや学年だよりで保護者へのお知らせを行ったり、全校朝会で全校児童に壁画の紹介をしたりした。	貴重な経験ができることを喜んでいて保護者が多かった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月 下旬	お互いに自己紹介のVTRをフォーラムで見せあうために、英語で自分の好きなことを紹介する練習をした。	緊張気味であったが、相手国の紹介を見ると一気に交流を現実的に感じた様子だった。	総合
情報収集	10月	お互いの国にあるおもちゃやお菓子、文化的なもの(扇子や浮世絵のレプリカなど)を交換し、相手国の様子を学んだ。	両国のたこを交換し、実際に飛ばしたり、有名な観光地の写真を見たりしながら、徐々に台湾の様子を理解していった。	総合
テーマ検討	11月	お互いに自分たちの街をテーマにしようとして話し合い、題材を考えていった。	自分たちの街を紹介するなら、「食」「文化」「自然」などにしようと考えを広げ、観音寺市を見つめ直す機会になった。	総合
制作	11月	レイアウトを決めて、絵を制作していった。	クラス全員での共同作業をすることにより、協力・工夫をするために話し合う児童の姿が見られた。	総合
鑑賞	2月 下旬	完成した壁画を校内で紹介し、自分たちの絵の題材になった物を紹介するVTRを作った。	絵の題材になったお互いの市の有名なものを聞き合うことで、台湾に対する愛着が増していった。	総合

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入(A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え(5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

学習目標・つけたい力	目標	成果	成果についてそう感じた場面・理由
自文化の理解	A	5	観音寺市の文化について意欲的に調べることができた。
異文化の理解	A	5	直接会うことができた経験が大きかった。相手を知ることで、好意的に考えるようになった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	B	2	自己紹介VTRを作る際に大きな声がなかなか出せなかった。
情報活用能力 (情報収集・発信)	B	4	相手意識を持って調べていくことができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	B	4	交流相手の自己紹介カードを見ながら、相手を意識する児童が増えた。
協働する力 (役割分担・協力)	B	4	壁画制作場面で役割分担を主体的に決めることができた。
学習を追究する意欲	B	2	まだまだ、教師が視点を与えないと調べることや伝えることが見えてこなかった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	B	3	中心になって絵を描いていった児童はよかったが、一部の児童はそれに従う形で制作していった。
作品を鑑賞する力	B	4	完成した作品に大きな感動を覚えていた様子だった。